

発 注 仕 様 書

1. 契約関係

- ・ 契約形態は指定袋等製造・商品管理及び配送業務の一括委託契約とする。
- ・ 契約期間は、令和7年4月1日～令和8年3月31日までとする。
- ・ 指定袋等の製造については、1袋（指定袋及び粗大ごみ処理券は10枚で1袋）あたりの単価契約とし、商品管理及び配送業務は年間の委託契約とする。
- ・ 受託者は、取扱店への配送及び不良品交換等に迅速に対応する為、見附市内の営業所に人員を配置し、令和7年3月末までに、見附市内に指定袋等の十分な保管場所を確保すること。
- ・ 受託者は、業務の全部、又は一部を第三者に再委託してはならない。ただし、書面による承認を得たときはこの限りではない。

2. 指定袋等製造関係

- ・ 製造する指定袋は5種類、粗大ごみ処理券は3種類とする。
- ・ 指定袋の形状は、マチ付手提げ袋（ベロ付）とする。
- ・ 燃えないごみ指定袋にのみベロに穴を開けること。
- ・ 透明度は、燃えるごみ指定袋・燃えないごみ指定袋とも半透明（いずれも内容物が識別できる程度）とする。
- ・ 品質については、異物の混入やピンホールなどの欠陥がないこと。
- ・ 焼却した際に有害物質が発生しないこと。
- ・ 納入前に指定袋の厚さについて公的機関が検査した証明書を市に提出すること。その際、日本工業規格に定められている袋の厚さの差の許容範囲を超えていないこと。
- ・ 指定袋等製造に市が指示する文字・図柄の印刷を施すこと。印刷前に市の校正を受けること。
- ・ 指定袋については1袋10枚入で外装袋（乳白色）に入れること。外装袋は、指定袋と同色で種別が明確にわかるよう印刷するとともに、取り出し口を設け、指定袋を1枚ずつ容易に取り出せるようにすること。
- ・ 外装袋、粗大ごみ処理券については、バーコード印刷すること。バーコードは市で取得及び登録済みである。
- ・ 粗大ごみ処理券は、いずれのサイズも10枚を透明な袋に入れること。その袋に印刷は要しない。
- ・ 外装袋については、燃えるごみ用及び燃えないごみ用指定袋のいずれのサイズも指定数量を段ボール箱に、粗大ごみ収集券については、1袋10枚入のものを取扱店に納品すること。

- ・ 梱包単位は以下のとおりとする。

種 類			梱包単位
指定袋	燃えるごみ	大	1箱 20袋入
		中	1箱 40袋入
		小	1箱 70袋入
		極小	1箱100袋入
	燃えないごみ	大	1箱 20袋入
		小	1箱 50袋入
粗大ごみ処理券		大	1袋 10枚入
		中	1袋 10枚入
		小	1袋 10枚入

- ・ 出荷状況を鑑みながら、欠品することのないよう材料調達及び製造業務を履行すること。

※規格については、指定袋等規格仕様書のとおり

3. 商品管理及び配送関係

- ・ 製造した指定袋等を管理し、週1回、指定袋等取扱店の発注に応じて配送すること。
 ※令和7年1月末現在、指定袋等取扱店は60店舗であるが、取扱店の増加にも対応すること。
 ※令和5年度の1ヵ月の配送数の平均は、燃えるごみ561箱、燃えないごみ27箱、粗大ごみ処理券201袋
 なお、市が指定する場所への配送も含む。取扱店の発注締め切り曜日、配送曜日等については別途協議する。
- ・ 指定袋等に欠陥がある旨、連絡があった場合、外装袋単位で引き換えること。なお、市に欠陥の連絡があった場合に備え、取替用の指定袋各2袋を市へ納めること。
- ・ 令和6年度末で在庫している指定袋等については、令和6年度の委託業者から全て引き継ぐこと。（令和6年度末在庫数見込みは、燃えるごみ3,350箱、燃えないごみ590箱、粗大ごみ処理券780袋）
- ・ 令和7年度末で在庫している指定袋等については、全数量を次年度の委託業者に引継ぐこと。なお引継ぎに係る運搬費用等は令和7年度の業務受託者の負担とする。

4. 代金決済関係

- ・ 指定袋等の仕入代金の回収については、当月分で締め切った分を翌月の指定支払期日まで払い込むよう各取扱店に請求すること。

- 手数料については、当月末で締め切り、翌月末日までに市に納入すること。その際の振込手数料は事業者が負担すること。
- 指定袋等取扱店への当月分の納品数量と在庫数量を指定様式により市に報告すること。